

リリースノート: Cat5 DVI HD Release 1.1.0

このドキュメントは、ラリタンのCat5 Reach DVI HDのリリースノートです。

適用製品	送信機 : C5R-DVI-HD-TX 受信機 : C5R-DVI-HD-RX ACアダプター : C5RPWRL
ハードウェアバージョン	C5R-DVI-HD-TX : 0A C5R-DVI-HD-RX : 0A
ファームウェアバージョン	Ver. 6. 4. 22. 11
リリース状況	公開済み

製品概要

ラリタンの KVMエクステンダーである「Cat5 Reach DVI HD」は、PC、サーバー、KVMスイッチの DVI-IポートもしくはVGAポート（VGA変換アダプターが添付）へFull HD（最大解像度は1920x1200）でのアクセスを可能とし、人的アクセスが制限された場所に配置された機器に対して、快適なリモート操作環境を提供します。

リモートユーザーの操作端末（USBキーボード、USBマウス、映像、音声）は、100m離れていても利用できます。（なお、IGMPとJumboフレームに対応したGigabit Ethernetスイッチをディジーチェーン接続すると1000mまで延伸可能です。）

また、USBメモリのようなストレージの利用、マウスやスピーカー／マイクの快適な利用を可能とします。

Cat5 Reach DVI HDには、Cat5 / Cat5e / Cat6 UTPケーブルを使用して、1 : 1で接続するための送信機（C5R-DVI-HD-TX）と受信機（C5R-DVI-HD-RX）がそれぞれ含まれていますので、受信機にUSBキーボード、モニター、USBマウスを差し込むだけで操作できます。

「Cat5 Reach DVI HD」は、PCやサーバー、KVMスイッチを人的アクセスが制限された安全な場所に配置する事によって人的リスクを最小限に抑えつつ、リモートからのアクセスと制御を可能にします。また、ラリタンのKVMスイッチと組み合わせた豊富な接続構成をサポートしています。

Cat5 Reach DVI HD リリースノート/ラリタン社顧客専用 Customers Only

本ドキュメントはラリタンのお客様のみを対象にしています。いかなる目的であれ、Raritan, Inc.から書面による承諾を得ることなく、本ドキュメントの全体または一部をこのほかの目的で使用することは禁じられています。

重要事項

I. 仕様上の制限

- ・ Cat5 Reach DVI HDは、1本のCat5ケーブルで最大100m離れて利用できるように設計されています。100mを超えた場合は、モニターに映像が表示されなくなります。100m以上延伸したい場合、Gigabit対応のスイッチを介して延伸します。
- ・ 複数の受信機 (RX) による1つの送信機 (TX) の共有
 - － 1つの送信機 (TX) が複数の受信機 (RX) によって共有される際、送信機 (TX) は1つのイーサネットスイッチへ接続して、そのスイッチに複数の受信機 (RX) や別のイーサネットスイッチを接続します。
 - － 総延長距離は1000mまでです。
- ・ VGAモニターに接続する際には、モニターを接続する前に製品同梱の「DVI-I-VGA変換アダプター」を接続してください。送信機 (TX) に「DVI-I-VGA変換アダプター」を取り付ける場合には、「DVI-I IN」と「DVI-I OUT」の両方のポートに「DVI-I-VGA変換アダプター」を取り付けてください。
- ・ ターゲットとなるコンピューターのビデオポートがDVI-Iの場合、VGAとDVI-Dの両方のビデオ信号が送信され、初期状態で送信機 (TX) はDVI-D信号のみ受信します。
- ・ 送信機 (TX) で「DVI-I-VGA変換アダプター」を1つだけ使用した場合、DVIとVGAの信号が混在するので、正常に動作しません。
- ・ コンピューターのVGAポート (ビデオソース) はVGA信号を送信機 (TX) に送信して、モニター (入力装置) は、送信機 (TX) からVGA信号を受信するので、送信機 (TX) には「DVI-I-VGA変換アダプター」を二つ取り付ける必要があります。
- ・ 送信機 (TX) の電源を入り切りすると、キーボードやマウスが検出されない事があります。この場合は、ターゲットであるコンピューターを再起動してください。

Cat5 Reach DVI HD リリースノート/ラリタン社顧客専用 Customers Only

本ドキュメントはラリタンのお客様のみを対象にしています。いかなる目的であれ、Raritan, Inc.から書面による承諾を得ることなく、本ドキュメントの全体または一部をこのほかの目的で使用することは禁じられています。